

第6回 柏崎市新庁舎建設検討委員会 議事要旨

1 日 時 平成28年1月19日(火) 午後6時30分から午後7時30分

2 場 所 柏崎市役所本館4階 大会議室

3 出席者

(1) 委員(五十音順)

大塚委員、西川委員、白川委員、須田委員、長委員、中出委員、平野委員、山崎委員、
吉田委員、山田委員(欠席:新田委員、柳委員)

(2) 事務局

総合企画部長、新庁舎整備室長、総務課長、事務局職員2名、
(株)アルメックVPI 3名

4 議事要旨

(1) 委員長挨拶

今日で第6回目となる。前回の検討委員会ではほぼ案を固めていただき、パブリックコメントを受けて若干修正している。委員の皆さんに確認いただき、承認していただければ、基本計画(案)として市長に提言したい。これまでの皆さんの協力に感謝している。

(2) 市長挨拶

昨年5月に新庁舎建設検討委員会を設置して以来、これまでの間、熱心に議論いただき、立派な計画がまとまった。皆様に深く感謝申し上げたい。庁舎建設は、50年に一度の市にとって大変大きな仕事である。委員会では、市民サービスの向上や災害対応・緊急時の対応、日進月歩である情報化への対応、そして基本的な理念、必要とされる機能、整備方針について議論をしていただいた。これまで検討してまとめていただいたものについては、パブリックコメントや市民説明会により意見をいただき、議会からも提言をいただいている。本日、最終的に基本計画案をまとめていただいた上で、基本計画にもとづき、次のステップである基本設計、実施設計に入り、目標である平成32年の完成を目指して、新庁舎の建設を着実に進めて参りたい。

(3) 報告

1) 前回の委員会での意見への対応

事務局より、資料をもとに、意見へどのような対応をし、基本計画にどのように反映されたかを説明。

2) 市民説明会の概要

事務局より、当日出された意見の概要について説明。多様な意見をいただいたが、今後設計を進めていく段階で参考とすることとした。

3) 柏崎市議会からの提言に対する考え方

事務局より、第5回検討委員会開催以降の市議会の動向及び市議会から受けた提言の概要とそれに対する考え方を説明。

4) パブリックコメントでの意見に対する考え方

事務局より、資料をもとにパブリックコメントの意見について概要とそれに対する考え方に

ついて説明。事務局は、基本計画の修正が必要なものはないと考えるが、設計段階で検討していくこととした。

《質疑なし》

(4) 協議

1) 新庁舎建設基本計画（案）について

委員長：基本計画（案）1ページの写真に、「柏崎駅」と「文化会館アルフォーレ」の2つを表示すると、位置関係が、より市民にとってわかりやすいのではないか。

事務局：そのように対応したい。

委員長：資料の基本計画を原案として、承認いただけるものか。（全員了承）

委員より一言感想をいただきたい。

委員：わからないことがたくさんあったが、資料にある市民の皆さんからの意見をみると、関心が高く、いろいろな情報を集めて勉強されているように感じた。これらの意見を全て取り入れた場合のハードがどうなるのか想像がつかないが、完成を楽しみにしている。当初から言ってきたが、ハードができただけでなく、ソフトの部分が重要となってくると思うので、今後その辺が活かされていくとよいと思う。

委員：当初から柏崎らしさについて発言してきた。長岡のように、駅から直接庁舎に行けばベストではあるが、柏崎では難しいかもしれないので、せめて冬場の風の厳しい中をそれなりに移動できるというような、先進的な対策が見えるとよりよいと思う。まちづくりなどのソフト面はこれで終わりではなく、まだまだ一緒にみんなで知恵を絞って、よりよい柏崎を目指していく仲間たちが集うような場で引き続き考えていけたらと思う。

委員：仕事柄いろいろなところの新庁舎を見てきたが、基本計画で出ている意見は、項目さえきちんとしていれば、心配なく設計され、施工してくれると思う。議員からの提言に食堂の話があったが、職員約500人規模で、常設で食堂を運営しても、土日休みだと採算が合わないと思う。ベースの部分なので、そうしたことを議員に説明をするなど、きちんと整理しておいた方がよい。ハード面だけでなく、市民活動の場ができた後にどうするのか、現庁舎の跡地をどうするのか、まちづくりをどうするのかということも、トータル的に考えていかなければならないと思う。明るい市役所は、市民にとっても利用しやすいので、職員は明るく対応してもらいたい。

委員：新庁舎は、市民とそこで働く職員のものであるという観点で、考え、発言させていただいてきた。先日、市民説明会に参加したが、まだまだ市民には理解されていない人もいると感じたので、もう少し市民に知られていったらよいと思う。跡地の問題も含めてまだ課題はあるが頑張してほしい。

委員：現庁舎には、大変愛着がある。したがって、現庁舎の跡地について気にかかるところであるので、しっかり検討してほしい。残念ながら反対意見の市民の方もいるが、新庁舎が建ってよかったと思ってもらえるよう、職員にがんばってもらいたい。完成を楽しみにしている。

委員：パブリックコメントの中にバスの待合がなくて困ると意見があったが、現在、駅が終点になっているバスが多いため、新庁舎が完成した際には、庁舎を終点にすると、

高齢者にも配慮され、市役所へ1人でも手続きに行けるようになるのでよいと思う。そのために、バス事業者と協議をしてほしい。また、トイレが男性と女性と同じ面積という場所が多いが、女性のトイレは混雑するし、荷物を置く台が必要となるので、なるべく、男性より女性の面積が広く取れるとよいと思う。交流スペースを設置するとあるが、執務スペースとの明確な区分け、セキュリティ対策が今後課題となってくると思う。

委員：自分は、新庁舎も現庁舎跡地も関わりを持っている地域に住んでいる。地域住民の一番の心配ごとは現庁舎の跡をどのように活用するかである。基本計画では、文言にはなっているが、今後実質的な検討をどのようにしていくかが重要である。おそらく第五次総合計画の中で検討していくと思われるが、地域住民は、柏崎のまちの活性化に、地域を利用していただくというのを望んでいる。市民と十分に議論する場を持っていただき、早めにやりとりする中で、跡地の活用を考えてもらいたい。

委員：この会議の場に参加されている方は、様々な課題に対して考えてきたので、深く理解して計画に盛り込む意見を出していただいているが、一般の市民の方にはなかなか伝わっていない部分があるのではないかと感じている。基本計画としてはこれできあがるが、今後、建設までの期間に、市民にどのように伝えていくのか、プロセスの中で、市民に参加していただく場面がつかれるかが重要になってくると思う。新庁舎ができあがる前に、市民の皆さんからの理解が深まるとよいと思う。

委員長：平成32年度に完成するという事は、基本計画ができてから5年ある。設計と並行して、若い方が中心となって、行政も巻き込んで、新庁舎の使い方を議論していただく場を設けてほしい。議論することにより、ソフト面に、市民の声を反映できると思う。基本計画では、若干庁舎の部分に重きを置いたために、現庁舎の跡地のことやまちづくりのことについて、少し厚みに欠ける部分もあったかと思うが、これらの事項は、早急に結論を出すのではなく、続けて議論していくことが大切である。基本計画には、新庁舎の建設についてだけでなく、現庁舎の跡地のことやまちづくりのことについても大筋を定めており、引き続き検討していくと掲げている。来年度以降、行政が中心となって市民を巻き込んで、引き続き議論を進めていってほしい。

副市長：1年間議論いただき、感謝申し上げます。基本計画については、承認をいただいたが、その後に、委員の皆様からいただいた意見については、計画を執行するにあたっての付帯意見として受け止めた。現庁舎の跡地をどうするのかという課題もあるが、これは簡単に答えを出せる問題ではないと思っている。第五次総合計画でも検討していかなければならないし、来年度引き続き検討を進めていきたいと考えている。

(5) その他

今後のスケジュールについては、基本計画（案）の修正、誤字・脱字を確認した上で、委員長・副委員長から市長へ提言する。日時は、1月21日（木）午前11時30分からである。

11月に、各委員からまちづくりの方向性について意見をいただいているが、基本計画（案）に掲載できなかった部分については、今後、市がまちづくりの方向性について検討を進めていく際の資料となる。

(6) 閉会挨拶（副委員長）

新庁舎建設検討委員会として、庁舎という多くの方が関わる施設について、市民の代表である委員の皆さんから、様々な立場からの忌憚のない意見を出していただいたことにより、充実した基本計画になったと思う。今後も引き続き、新庁舎に関連した活動にも参加いただければと思う。

以上